

令和元年度 食育に関する事務事業一覧

資料 3-2

所属	No.	事業名	分野記号	指標番号	実施年度	事業概要・根拠法令等	主な平成30年度事業実績・令和元年度事業予定	事業費	今後の方向性	見直し等の理由
総合政策部	1	広報紙等発行事業	A-1 B-1 B-2 B-4 C-1 C-3		H21~	<p>○市の重要施策や生活・健康・趣味に関する情報について、「広報いわき」に掲載するほか、テレビ・ラジオ・新聞広報、ソーシャルメディアを活用して広報を行っている。</p> <p>○食育に関する取り組みやイベントなどを適時適切に掲載し、広く市民に食育に関する広報を行っていく。</p>	<p>H30 (実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○広報いわき、テレビ・ラジオ・新聞広報、ソーシャルメディアを活用し <ul style="list-style-type: none"> ・食育月間の取り組み ・食育講演会 ・いわきっ子・いきいき健やか食育教室の開催案内 ・第4回 いわきわくわく食育フェスタの開催案内 ・食育モデル事業の催案内 ・健康増進普及月間と食生活回線普及運動の周知 ・第3次食育推進計画に対する市民意見を募集 ・いわき市食育推進協議部会委員の募集 などを広報した。 	70,307千円	継続	
							<p>R1</p> <ul style="list-style-type: none"> ○広報いわき、テレビ・ラジオ・新聞広報、ソーシャルメディアを活用し、適時適切に、食育に関する取り組みやイベントなどを掲載し、広く市民にお知らせする。 	71,178千円		
生活環境部	2	ごみ減量・リサイクル推進事業	E-2	⑮	—	<p>3R(リデュース:発生抑制、リユース:再使用、リサイクル:再生利用)を基本とした循環型社会の構築を目指すため、リサイクルプラザの利用等による市民・事業者の意識啓発事業や、ごみ減量化に向けた各種施策を展開する。</p> <p>【根拠法令等】循環型社会形成推進基本法、廃棄物処理法、資源有効利用促進法</p>	<p>H30 (実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリンピーの家における各種啓発事業の実施 ・小学生向け副読本の作成 ・市役所出前講座の実施 ・各イベントでの啓発活動 ・大規模建築物所有者等へのごみ減量指導 	1,643千円	継続	
							<p>R1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリンピーの家における各種啓発事業の実施 ・小学生向け副読本の作成 ・市役所出前講座の実施 ・各イベントでの啓発活動 ・大規模建築物所有者等へのごみ減量指導 ・食品ロス削減の啓発 	1,720千円		
	3	家庭用生ごみ処理機等普及促進事業	E-3	⑮	H5~	<p>生ごみの減量や堆肥化などを推進するため、「家庭用生ごみ処理機」の購入補助を実施するもの。</p> <p>【根拠法令等】いわき市家庭用生ごみ処理機等購入補助金交付要綱</p>	<p>H30 (実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ自家処理容器(コンポスト・密閉型) 23件 ・家庭用生ごみ処理機 13件 	225千円	継続	
<p>R1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ自家処理容器(コンポスト・密閉型) 40件 ・家庭用生ごみ処理機 7件 	235千円									

令和元年度 食育に関する事務事業一覧

資料 3-2

所属	No.	事業名	分野記号	指標番号	実施年度	事業概要・根拠法令等	主な平成30年度事業実績・令和元年度事業予定	事業費	今後の方向性	見直し等の理由	
健康づくり推進課	4	特定健康診査事業	C-1		H20～	<p>実施年度中40歳～75歳未満の国民健康保険加入者を対象として、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した特定健康診査を実施し、生活習慣病の該当者及び予備群を減少させるための特定保健指導を必要とする者を抽出し、抽出された者に対して、糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化を予防するため、特定保健指導を実施する。</p> <p>【内容】</p> <p>①特定健康診査 基本的な健診項目(質問項目、身体計測(体重、腹囲、BMI等)、理学的検査、血液検査、尿検査他)及び心電図検査、眼底検査、貧血検査等を行う。また、健診結果に基づき階層化(特定保健指導対象者の抽出)を行う。</p> <p>②特定保健指導 階層化された特定保健指導対象者(動機付け支援レベル、積極的支援レベル)に対し、生活習慣改善のための目標設定及び行動計画作成、運動習慣や食習慣等を改善するための支援を行う。成、運動習慣や食習慣等を改善するための支援を行う。</p> <p>【根拠法令等】高齢者の医療の確保に関する法律</p>	<p>H30(実績)</p> <p>○特定健診 個別健診(医療機関)及び集団健診(検診車)により実施。(平成30年5月～平成31年1月) 受診状況:受診数 17058人 受診率 31.6%(国保途中加入・脱退含む暫定値) 階層化内訳:動機付け支援対象者 1,364人 積極的支援対象者 377人</p> <p>○特定保健指導 委託(いわき市医師会)及び市直営(各地区保健福祉センター)で実施。(平成30年4月～平成31年3月) 動機付け支援 初回面接:385名 利用率:28.2% 積極的支援 初回面接:63名 利用率:16.7%</p>	200,933千円	継続		
							<p>R1</p> <p><特定健診> 個別健診(医療機関)及び集団健診(検診車)により実施。(令和元年5月～令和2年1月)</p> <p><特定保健指導> 委託(いわき市医師会)及び市直営(各地区保健福祉センター、健康づくり推進課)で実施。(平成31年4月～令和2年3月)</p>	265,878千円			
	保健福祉部	5	いわき市配食サービス事業	A-1 A-5	① ⑥ ⑨	H12～	<p>調理の困難なひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯等に対して、定期的に居宅を訪問し、1日1食栄養バランスの取れた食事を提供することにより、生活の質の向上、孤立感の解消及び安否の確認を行う。更にはそれらを通して地域の見守りネットワークを構築することも目的としている。</p> <p>【根拠法令等】いわき市配食サービス事業実施要綱</p>	<p>H30(実績)</p> <p>利用者数 1,036人 配食数 172,177食</p>	89,249千円	継続	
								<p>R1</p> <p>・実施内容について、前年度同様。 ・中山間地においては配食対応が可能な事業者が少ないことから、中山間地域での配食サービスの在り方を検討予定。</p>	93,668千円		
		6	さきがけ! 男の料理塾	A-1 A-5 D-1	① ② ⑥ ⑨ ⑩ ⑫	H29～	<p>低栄養のリスクの高い高齢男性を対象とし、手軽に作れる料理や、食についての知識を実習や講義を通して学ぶことで、調理のみならず、献立作成、栄養バランス、材料購入、調理手順等のポイントを習得する。 また、料理を楽しみながらいつでも食事の準備が自分で出来るようになること、さらには仲間との交流を通じて新たなつながりのきっかけとし、高齢男性の介護予防の推進に資することを目的とする。</p> <p>【根拠法令等】令和元年度「さきがけ! 男の料理塾」開催要項</p>	<p>H30(実績)</p> <p>実施回数 3コース(1コース8講座、うち6階が調理実習) 延参加者数 41名</p>	651千円	継続	
								<p>R1</p> <p>・実施内容について、前年度同様。 ・実施回数 3コース(各コース8回の調理実習・グループワーク等) ・参加定員 48名</p> <p>・高齢男性を調理補助のボランティアとして受け入れる体制を整え、高齢者の社会参加の場としても展開する</p>	768千円		

令和元年度 食育に関する事務事業一覧

資料 3-2

所属	No.	事業名	分野記号	指標番号	実施年度	事業概要・根拠法令等	主な平成30年度事業実績・令和元年度事業予定	事業費	今後の方向性	見直し等の理由			
地域包括ケア推進課	7	いわき市「つどいの場」会食事業	A-1 A-5 D-1	① ⑨ ⑫	H30～	高齢者のひとり暮らしや高齢者のみ世帯が増えるなか、高齢者が低栄養等による活動量の低下や体力低下を予防するほか、孤独感の解消及び粗食の防止を図ることを目的に「つどいの場」に参加する高齢者に食事を提供するもの。 【根拠法令等】いわき市「つどいの場」会食事業実施要領	H30 (実績) ・利用団体数 116団体 ・利用食数 1,787食	269千円	継続				
							R1	・実施内容について、前年度同様。			11,588千円		
	保健福祉部	8	食の安全フォーラム	E-1	⑧	H20～	○食品事業者や消費者である市民に対し、食品衛生についての適切な情報発信を行い、正しい知識を身につけてもらうことにより、食品安全に関するリスクコミュニケーションの推進を図る。 ○内容 ① 講演 ② 質疑応答 等 【根拠法令等】食品衛生法	H30 (実績) ●1回開催、47名参加 【テーマ】アニサキスによる食中毒について	64千円	継続			
								R1	●1回開催予定 【テーマ】健康食品について			71千円	
		生活衛生課	9	食の子ども探検隊（一日食品衛生監視員体験）	E-1	⑧	H25～	小学生を対象に、行政の取り組みや食品営業施設での食品の取扱いを知ってもらうため、普段は立ち入ることができない、大型小売店（スーパー）のバックヤードへ食品衛生監視員とともに立入り、食品事業者がどのように食の安全に取り組んでいるのか、どのように消費者に安全・安心な食品を届けているのかを実際に見て、聞いて体験をすることで、食品の安全性について考え、自主的に食の安全・安心の確保に取り組む姿勢を育むことを目的とする。 【根拠法令等】食品衛生法	H30 (実績) ●1回開催、23名参加	61千円	継続		
									R1	●1回開催予定			52千円

令和元年度 食育に関する事務事業一覧

資料 3-2

所属	No.	事業名	分野記号	指標番号	実施年度	事業概要・根拠法令等	主な平成30年度事業実績・令和元年度事業予定	事業費	今後の方向性	見直し等の理由
保健福祉部	10	食育推進事業	A-1 A-4 C-1 C-3 D-2 E-3 E-4	①② ③④ ⑤⑥ ⑦⑧ ⑨⑩ ⑪⑫ ⑬	H19～	「第3次いわき市食育推進計画」の内容を踏まえ、本市の特性を生かした食育を総合的かつ計画的に推進する。 【根拠法令等】食育基本法、食育基本計画いわき市食育推進計画	H30 (実績) ○食育推進協議部会 3回開催 ○食育庁内推進会議 3回開催 ○食育講演会開催 ○食育モデル事業の実施 ・生活習慣病予防を支援するための食育推進事業 ・食育・健康サポート隊推進事業	1,640千円	継続	
							R1 ○食育推進協議部会 2回開催 ○食育庁内推進会議 2回開催 ○第3次食育推進計画書・概要版製本および関係各所への配布 ○食育講演会開催 ○食育モデル事業の実施 ○いきいきiwki食育健康サポート隊推進事業 ○働く世代に向けた食育事業	1,606千円		
	11	健康教育(栄養・食生活)	C-2	①② ⑥⑨	H6～	健康づくりには、食生活や運動・休養等の生活習慣が大きく関係することから、健康増進法及び食育基本法に基づき、市民に対して栄養やその他生活習慣の改善に関する栄養相談や栄養指導について重点的に取り組み、健康増進や疾病予防を図る。 【根拠法令等】健康増進法、食育基本法	H30 (実績) 栄養・食生活に関する健康教育及び健康相談の実施 (電話・来所による相談、講話(出前講座含む)、調理実習等) ・来所・電話相談 357件 357人 ・健康教育(出前講座、調理実習含) 28回 1,160人	—	継続	
				R1 要望に応じ随時対応。	—					
	12	いわきっ子・いきいき健やか食育教室(学童期)	A-1 A-2 B-2 B-4	③⑤ ⑥⑦ ⑧⑨ ⑩	H18～ H30	●学童期の肥満児は増加傾向にあり、このことは将来のメタボリックシンドロームや生活習慣病の発症に大きく関わる要因の一つである。そこで、学童を対象とした食に関する学習の機会を提供し、健康づくりの基本である、正しい食生活の知識を普及し、またそれらを通じて児童の心身の健全育成を図る。また、楽しく食べる幼児体験を通じて、子供の食への関心を育み、「食を営む力」の基礎を培う「食育の実践」を行う。 ●対象及び内容 学童期の児童(1～6年生)とその保護者 ①食育に関する講話 ②調理実習(自分でつくれる昼食) ③試食を通じた楽しい食事会	H30 (実績) 3回開催 30組、62名参加 【児童32名、保護者30名】	57千円	見直し	令和元年度は平成30年度実施の「食育に関する市民アンケート」の結果において食に関する課題の多かった若い世代、働き盛り世代へ対象をシフトし、食育教室・啓発事業を実施。
				R1 開催予定なし						

令和元年度 食育に関する事務事業一覧

資料 3-2

所属	No.	事業名	分野記号	指標番号	実施年度	事業概要・根拠法令等	主な平成30年度事業実績・令和元年度事業予定	事業費	今後の方向性	見直し等の理由
保健所地域保健課	13	いわきっ子・いきいき健やか食育教室(幼児期)	A-1 A-2 B-1 B-2	③⑤ ⑥⑦ ⑧⑨ ⑪	H18~H30	<p>●幼児やその家族を対象とした食と子育てに関する学習の機会を提供し、健康づくりの基本である、正しい食事のとり方や望ましい食習慣の定着及び食を通じた人間性の形成等を図るとともに、児の心身の健全育成を図る。</p> <p>また、楽しく食べる体験を通して、子どもの食への関心を育み、「食を営む力」の基礎を培う「食育」の実践を行う。</p> <p>●対象及び内容 2歳半～3歳の児とその保護者、4歳～6歳の児とその保護者</p> <p>①食育に関する講話 ②簡単でおいしい食事やおやつづくりの体験 ③試食を通じた楽しい食事の体験 ④他の母子との交流</p> <p>●内容 ①食育に関する講話 ②調理実習(鍋で炊飯、だしの飲み比べ体験、味噌汁づくり) ③試食を通じた楽しい食事会</p> <p>【根拠法令等】食育基本法、食育基本計画、新・いわき市子育て支援計画、いわき市食育推進計画</p>	H30(実績) 11回開催 90組、182名参加 (幼児92人、保護者90人)	191千円	見直し	令和元年度は平成30年度実施の「食育に関する市民アンケート」の結果において食に関する課題が多かった若い世代、働き盛り世代へ対象をシフトし、食育教室・啓発事業を実施。
							R1 開催予定なし	—		
	14	高校生に対する食育事業	A-1 A-3	①③ ④⑤ ⑨	R1~	<p>平成30年度に実施した「食育に関する市民アンケート」の結果によると、若い世代(16~29歳)において、朝食の欠食や栄養バランスの乱れ等の課題が明らかとなり、若い世代が望ましい食生活を実践できるような支援が必要である。そこで、近い将来、毎日の食事を自らの判断で営むこととなる高校生を対象に、食に関する講話や体験学習の機会を提供し、食の自立に向けた正しい食の知識の普及啓発ならびに心身にわたる健康の増進を図る。</p>	H30(実績)	—	継続	
R1	<p>実施回数 2回(県立高等学校 2校)</p> <p>内容 ・栄養に関する講話及び演習 ・食生活に関するアンケート(事業実施前後)</p>	112千円								
15	食育インフォメーション(食育月間:6月)	A-1 A-2 A-3 A-4 A-5 B-1 B-4 B-5 C-1 C-3 D-1	①② ③④ ⑤⑥ ⑦⑧ ⑨⑪ ⑫⑬	H19~	<p>「第3次いわき市食育推進計画」の内容を踏まえ、本市の特性を生かした食育を総合的かつ計画的に推進する。</p> <p>【根拠法令等】食育基本法、食育推進基本計画、いわき市食育推進計画</p>	H30(実績) ○6月18日(月)~6月22日(金)開催 ○開催場所:①総合保健福祉センター1階アトリウム ②市役所本庁舎1階正面入り口付近 ○内容:①、②食育関係パンフレット配布、パネル掲示 ○6月27日(火) ヨークベニマルエプリア店において栄養相談 栄養相談件数:170件	—	継続		
R1	<p>(1)食育インフォメーション(パンフレット等の配布) ①総合保健福祉センター 6月10日(月)~30日(日) ②総合図書館 6月1日(土)~9日(日)、6月22日(土)~30日(日) ③イオンいわき店 6月1日(土)~30日(日) (2)食育インフォメーション(健康相談会、食育の啓発、パンフレットの配布等) ヨークベニマルエプリア店 6月25日(火) 栄養相談件数:133件</p>	46千円								

令和元年度 食育に関する事務事業一覧

資料 3-2

所属	No.	事業名	分野記号	指標番号	実施年度	事業概要・根拠法令等	主な平成30年度事業実績・令和元年度事業予定	事業費	今後の方向性	見直し等の理由
保健福祉課	16	食育インフォメーション (食育の日:毎月19日)	A-2 B-1 D-1	⑥⑨ ⑪	H19~	「第3次いわき市食育推進計画」の内容を踏まえ、本市の特性を生かした食育を総合的かつ計画的に推進する。 【根拠法令等】食育基本法、食育推進基本計画、いわき市食育推進計画	H30 (実績) ○毎月19日に「食育の日」において実施。 ○場所:いわき市総合保健福祉センター1階ロトリウム ○内容:食育事業の写真等の掲示を実施し、「食育の日」の定着を図る。	—	継続	
							R1 毎月実施	—		
	17	特定給食施設管理指導事業	B-3 C-3 D-2 E-2	①② ③④ ⑤⑥ ⑧⑨ ⑩⑪	—	特定給食施設及び小規模特定給食施設の喫食者に対して適正な栄養管理が実施され、給食施設の栄養管理等を通じて市民の健康増進が図られることを目的に、必要な指導及び助言を行う。 【根拠法令等】健康増進法	H30 (実績) ○特定給食施設等栄養管理調査票による現状把握及び指導:256施設 ○巡回指導施設:22施設 ○特定給食施設栄養管理指導票の交付:19施設 ○特定給食施設栄養管理状況報告書による現状把握及び指導:111施設(報告月:1月) ○衛生行政報告例に基づく調査:254施設 ○いわき市健康増進法施行規則による届け出	193千円	継続	
							R1 ○各施設の指導の必要性に応じて実施予定	193千円		
	18	国民健康・栄養調査	G	① ② ⑤ ⑥	—	○概要 健康増進法に基づき国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基礎資料として、国民の身体の状態、栄養摂取量及び生活習慣の状況を明らかにするため、厚生労働省からの調査地区指定通知により実施する。 【根拠法令等】健康増進法	H30 (実績) ①調査機関:9月~11月 ②調査内容:身体状況調査、栄養摂取状況調査、生活習慣状況調査 ③対象地区:1地区(錦町安良町地区)	257千円	継続	
							R1 ①調査期間:9月~11月 ②調査内容:身体状況調査、栄養摂取状況調査、生活習慣状況調査 ③対象地区:1地区(大久町大久地区)	1,011千円		

令和元年度 食育に関する事務事業一覧

資料 3-2

所属	No.	事業名	分野記号	指標番号	実施年度	事業概要・根拠法令等	主な平成30年度事業実績・令和元年度事業予定	事業費	今後の方向性	見直し等の理由
保健福祉部	19	地域保健関係職員等研修会 (栄養改善担当者研修)	C-2	①② ⑥⑨	H11~	<p>栄養・食生活の業務等に従事している者を対象として、地域住民の食生活の改善と向上及び生活習慣病の予防を図るため、栄養・調理技術及び、衛生の管理等、栄養に関する基本的事項及び新しい健康情報を得ることを目的に実施する。</p> <p>【根拠法令等】食育基本法</p>	<p>H30 (実績)</p> <p>●いわき市総合保健福祉センター1階多目的ホール 対象者：特定給食施設(管理者、管理栄養士、栄養士、調理従事者等)、学校支援課栄養担当者、こども支援課栄養担当者、福島県栄養士会いわき支部会員、保健師、その他</p> <p>・第1回 内容：講話「特定給食施設等における栄養管理について」、説明「いわき市特定給食施設等手引書の改訂について」 参加人数：128名</p> <p>・第2回 内容：講演「地域包括ケアシステムの推進 ～介護保険施設の役割～」 グループワーク「よりよい栄養ケアマネジメントを行うために」 説明「市民アンケートから見るいわき市民の食に関する現状」 参加人数：48名</p> <p>・第3回 内容：講演「ヒューマンエラーの本質 ～産業心理学の立場からの提言～」 グループワーク「給食施設のヒューマンエラー対策を考える」 参加人数：67名</p>	174千円	継続	
							<p>R1</p> <p>2回実施 ●1回目 講演「新しい『授乳・離乳の支援ガイド』の活用について」、意見交換会 ●2回目 講演及び講話</p>	282千円		
	20	健康推進員育成支援事業	C-2	①② ⑥⑦ ⑨⑩ ⑬	H10~	<p>健康づくり関連施策のより一層の効果的な実施を図るために、地域ボランティアであるいわき市健康推進員活動が積極的に展開されるよう、健康推進員の育成支援及び組織の強化を図ることを目的とし、実施する。</p> <p>【根拠法令等】いわき市食育推進計画</p>	<p>H30 (実績)</p> <p>○開催回数：5回(延べ7回) ○参加人数：284人 ○実施内容： ・第1回「健康推進員の役割と活動」「いわき市の健康づくり体制について」「健康と栄養・食生活について」 ・第2回 講話及び調理実習「あなたの食事は大丈夫？骨粗鬆症を予防する食生活」 ・第3回 講話及び市民アンケート等から見るいわき市民の食生活上の課題と意識」及び調理実習「働き世代のための生活習慣病予防スキルアップ事業を活用した調理実習」 ・第4回 講話「心臓を守るために生活習慣で心がけること 高血圧をはじめとする循環器疾患の病気の理解と予防」講師：医療法人医和生会 理事長 山内俊明氏 ・第5回 講話・実技「生活習慣病を予防する健康体操を楽しく実践しよう」講師：ホップステップ健康体操指導員 赤津 俊子氏</p>	311千円	継続	
							<p>R1</p> <p>○開催回数：5回(延べ7回) ○実施内容： ・第1回「健康推進員の役割と活動」「いわき市の健康づくり体制について」「健康と栄養・食生活について」 ・第2回 講話「薬と健康の話」講師：一般社団法人いわき市薬剤師会 松崎登志子氏 ・第3回～第5回 講話、調理実習、実技等</p>	311千円		
	21	幼児むし歯予防対策事業	A-1 A-2 B-1 B-2 B-4	① ③ ⑥	H20~	<p>1歳6か月児及び3歳児健康診査における歯科検診にあわせて、むし歯予防のためのフッ化物歯面塗布及びブラッシング。生活指導を実施し、むし歯の予防及び保護者の意識啓発を図る。</p> <p>【根拠法令等】母子保健法第9条、歯科口腔保健の推進に関する法律、いわき市歯と口腔の健康づくり推進条例、新・いわき市総合計画実施計画等</p>	<p>H30 (実績)</p> <p>・1歳6か月児健康診査 年76回 2,169人 ・3歳児健康診査 年77回 2,037人</p>	3,443千円	継続	
							<p>R1</p> <p>・1歳6か月児健康診査 年77回 2,800人 ・3歳児健康診査 年66回 2,800人</p>	3,449千円		

令和元年度 食育に関する事務事業一覧

資料 3-2

所属	No.	事業名	分野記号	指標番号	実施年度	事業概要・根拠法令等	主な平成30年度事業実績・令和元年度事業予定	事業費	今後の方向性	見直し等の理由
保健	22	地域歯科保健推進事業	A-1 A-2 A-3 A-4 A-5 B-1 B-2 B-4	① ③ ⑥	H11~	<p>歯及び口腔の健康を保つことは、単に食物を咀嚼するという点からだけでなく、食事や会話を楽しむなど、豊かな人生を送るための基礎となるものである。しかし、むし歯の有病状況は市民の保健上から依然として大きな課題であることから、乳幼児期からの生涯を通じた歯科疾患の予防、口腔機能の獲得・保持等により、心身ともに健やかで心豊かな生活ができることを目的として、健康教育・健康相談を行う。</p> <p>【根拠法令等】健康増進法第7条、母子保健法第9条、歯科口腔保健の推進に関する法律、厚生省老人保健福祉局長通知「保健事業実施要領」等</p>	<p>H30 (実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯ピカリ教室 24回 152組 ・歯やお口の健康相談 電話 42件、来所 31件 ・健康教育(依頼により対応) 13回 490人 	391千円	継続	
							<p>R1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯ピカリ教室 18回 ・歯やお口の健康相談(電話及び来所相談にて随時対応) ・健康教育(依頼により対応) ・歯とお口の健康相談～目指そう! 8020～(時間予約制による個別相談) 6回 	303千円		
福祉	23	フッ化物洗口事業	A-1 A-2 B-1 B-2 B-4	① ③ ⑥	H29~	<p>私立就学前施設(保育所・幼稚園・認定こども園等)の4歳以上の幼児及び小学生を対象に、集団で低濃度のフッ化物洗口液でうがいをすることで、むし歯の予防を図り、生涯を通じた歯と口腔の健康づくりを進める。</p> <p>【根拠法令等】歯科口腔保健の推進に関する法律、いわき市と口腔の健康づくり推進条例</p>	<p>H30 (実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施施設数 ・私立幼稚園・保育所等:20施設 ・私立小学校:1校 	1,141千円	継続	
							<p>R1</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施施設数(継続施設) ・私立幼稚園・保育所等:20施設 ・私立小学校:1校 (新規施設) ・私立幼稚園・保育所等:7施設(見込) 	1,119千円		
社会	24	口腔・栄養ケア推進事業	A-1 A-2 A-3 A-4 A-5	①② ③④ ⑤⑥ ⑧⑨	H6~	<p>歯科衛生士や栄養士が、障がい者や難病患者等を対象に訪問を行い、口腔内・栄養状態を調査し、本人及びその家族等へ適切な指導・助言を行う。また、市民を対象として生活習慣病を予防し健康寿命を延伸するため、健康教育等による普及啓発を行う。</p> <p>【根拠法令等】健康増進法17条、母子保健法第11条及び17条、歯科口腔保健の推進に関する法律、厚生省老人保健福祉局長通知「保険事業実施要領」等</p>	<p>H30 (実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 訪問指導件数 ・口腔指導 延 37人 ・栄養指導 延 171人 健康教育 ・2回実施 	4,536千円	継続	
							<p>R1</p> <ul style="list-style-type: none"> 訪問指導件数 ・口腔指導 延 80人 ・栄養指導 延 100人 健康教育 ・機会を捉え実施予定 	4,859千円		

令和元年度 食育に関する事務事業一覧

資料 3-2

所属	No.	事業名	分野記号	指標番号	実施年度	事業概要・根拠法令等	主な平成30年度事業実績・令和元年度事業予定	事業費	今後の方向性	見直し等の理由
保健福祉部 保健所 地域保健課	25	いわき健康チャレンジ事業	A-1 C-1	②	H28～	<p>○概要 県が実施する「ふくしま【健】民パスポート事業」と連動し、生活習慣病を予防し、健康寿命の延伸を図ることを目的とし、健康行動にチャレンジして基準を達成した市民に対して「ふくしま健民カード」を交付します。特典を付与することにより、健康行動に取り組むきっかけや続ける動機づけとなるよう支援するものです。</p> <p>○内容 参加者が健康づくりメニューに取り組んだ内容を台紙に記入しポイントを貯める⇒基準ポイントに達成後「ふくしま健民カード」を申請しカードを取得⇒プレゼントキャンペーン参加及び協力店で割引など特典を得る⇒健康づくりメニューを継続し、一定のポイントを達成する毎にランクアップカードを申請しカードを取得</p> <p>【根拠法令等】健康増進法第</p>	<p>H30 (実績)</p> <p>○ふくしま健民カード申請発行期間 平成30年6月1日～平成31年3月1日</p> <p>○ふくしま健民カード発行者数 延べ259人 (参考)ふくしま健アプリによるカード発行者数 延べ 981人</p>	451千円	継続	
							<p>R1</p> <p>○健康行動の取組期間 通年</p> <p>○ふくしま健民カード申請発行期間 令和元年6月3日～令和2年3月2日</p>	458千円		
こどもみらい部 こども支援課	26	食育計画推進事業	A-1 A-3 B-1 B-2 B-3 E-2	①④ ⑥⑦ ⑪⑭	—	<p>●公立保育所においては、「いわき市立保育所保育の計画(保育課程、年間指導計画)」「いわき市立保育所食育の計画」を策定。各保育所ではこれらにもとづき、保育の一つの柱として食育に取り組む体制作りを行い、計画を策定、施行する。(法人立保育所においてはこれらを参考として、それぞれに計画、施行している。)こども支援課は、保育所給食が食育の媒体となるよう、献立を策定。慣れない食べ物や嫌いな食べ物にも挑戦する機会を作り、給食を通し食事のバランス、食事量の調整等を体験したり、配膳、片付けに関わる体験や、挨拶、食事のマナーなどを身につけることなど、楽しい食事の中から食べることを通して、食を営む力の基礎を培う食育の実践を行う。* 食事時間に栄養素別・色分け4つのお皿のランチョンマットを使用し給食を楽しみながら学ぶことも実践。</p> <p>【根拠法令等】保育所保育指針、いわき市立保育所保育の計画、食育基本法、いわき市立保育所食育の計画</p>	<p>H30 (実績)</p> <p>公立、法人立保育所で実施</p>	—	継続	
							<p>R1</p> <p>公立、法人立保育所で実施予定</p>	—		
こどもみらい部 こども支援課	27	家庭との連携事業	A-1 A-2 B-1 B-2 B-3	①② ③④ ⑥⑦ ⑧⑨ ⑪⑫ ⑭	—	<p>●保育所給食の情報を提供し、乳、幼児期の食に関する正しい知識や望ましい食習慣の啓発を図る。</p> <p>●内容 ①食事だより、健康だより、食育ニュース等の発行 ②保育所給食のサンプル展示 ③交換給食(試食会)の実施 ④講習会の開催 ⑤保護者への食事調査実施。結果は保護者各位に通知。市ホームページにて公表(H22年度から公表) ⑥放射性物質検査(調理前の食材と提供した給食)の結果を公表(H23年度から実施) ⑦献立表の配布(年間の献立テーマを設定し、献立計画に基づき献立を作成)</p> <p>【根拠法令等】保育所保育指針、いわき市立保育所保育の計画、食育基本法、いわき市立保育所食育の計画</p>	<p>H30 (実績)</p> <p>公立、法人立保育所で実施。</p>	—	継続	
							<p>R1</p> <p>公立、法人立保育所で実施予定</p>	—		

令和元年度 食育に関する事務事業一覧

資料 3-2

所属	No.	事業名	分野記号	指標番号	実施年度	事業概要・根拠法令等	主な平成30年度事業実績・令和元年度事業予定	事業費	今後の方向性	見直し等の理由
こどもみらい部	28	保育所給食担当職員研修会	B-1 B-3	①⑧ ⑨	—	<ul style="list-style-type: none"> ●保育所給食に従事している者を対象とし、食中毒事故防止と衛生管理に関する意識向上及び、調理技術、栄養管理の資質向上を図る。また、個々の保育所で実践している食育事業の情報交換を行い、保育所給食での食育活動の充実を図る。 ●内容 <ul style="list-style-type: none"> ①調理実習 ②講演(衛生管理、感染症対策等) ③栄養情報の伝達 【根拠法令等】保育所保育指針、いわき市立保育所保育の計画、食育基本法、いわき市立保育所食育の計画	H30(実績) 2回開催 77人参加 公立保育所給食担当者57人 法人立保育所給食担当者20人	—	継続	
						R1 2回開催予定 113人対象 公立保育所給食担当者64人 法人立保育所給食担当者49人	—			
	29	保育所地域活動事業	A-1 A-3 B-1 B-3 D-3 E-2	①⑦ ⑫	—	<ul style="list-style-type: none"> ●地域のお年寄り、祖父母とともに、柏餅作り、もちつきなど伝統的な食に関する行事や、地域で培われた食文化を体験し伝承等につなげる。世代間交流することで様々な人々と食事を共にする喜びを味わい、食事のマナーを身につけ、食を通じて人とかわる力を養う。 【根拠法令等】保育所保育指針、いわき市立保育所保育の計画、食育基本法、いわき市立保育所食育の計画	H30(実績) 公立、法人立保育所で実施	—	継続	
						R1 公立、法人立保育所で実施予定	—			
	30	保育所食育活動(調理体験)	A-1 A-3 B-1 B-3 E-2	①⑦ ⑪⑫	—	<ul style="list-style-type: none"> ●保育所において、子ども自ら食事の準備、調理、後片付けまでの食事づくりにかかわることで主体性を育む。また、自分達でつくったものを一緒に食べる楽しさを味わい、自分が食べる食品や、調理方法などに関心を持ち、調理を楽しむ体験を通し、食を営む力の基礎を培う食育の実践を行う。 ●具体例 カレーパーティ、レストランごっこ、お店屋さんごっこでのクッキング、誕生会にクッキングパーティなど 【根拠法令等】保育所保育指針、いわき市立保育所保育の計画、食育基本法、いわき市立保育所食育の計画	H30(実績) 公立、法人立保育所で実施	—	継続	
						R1 公立、法人立保育所で実施予定	—			

令和元年度 食育に関する事務事業一覧

資料 3-2

所属	No.	事業名	分野記号	指標番号	実施年度	事業概要・根拠法令等	主な平成30年度事業実績・令和元年度事業予定	事業費	今後の方向性	見直し等の理由
こどもみらい部 こども支援課	31	保育所食育活動 (野菜等の栽培体験)	A-1 A-3 B-1 B-3 D-1 E-2	①⑦ ⑪⑭	—	<p>●野菜等を子どもたちが仲間とともに栽培し、収穫することで自然とのかかわり、いのちあるものとの出会いを体験し、育てることの喜び、いのちを大切にすることを養う。収穫したものを皆で分け調理し、楽しく食べることで、食への関心を高め、食を営む力の基礎を培う食育の実践を行う。</p> <p>●具体例 野菜、果物などの栽培をして、収穫祭、焼き芋会、スイートポテト作りなどを実施。</p> <p>【根拠法令等】保育所保育指針、いわき市立保育所保育の計画、食育基本法、いわき市立保育所食育の計画</p>	H30 (実績) 公立、法人立保育所で実施 *震災後の放射線関係の影響から内容等を考慮して実施。	—	継続	
							R1 公立、法人立保育所で実施 *震災後の放射線関係の影響から内容等を考慮して実施。	—		
	32	保育所食育活動 (保育中の食育遊び)	A-1 B-1	①④ ⑥⑦ ⑪⑫	—	<p>●保育中の遊びの中に食育内容を取り入れ、遊びをとおした楽しい経験の中で、食の話題を広げ、食べ物に興味、関心を持たせることで、食を営む力の基礎を培い、楽しく食べることができる子どもの食育実践を行う。</p> <p>●食育用媒体などを使用して活動 カルタ、紙芝居、絵本、食べ物絵カード、栄養素別色分け4つのお皿のランチョンマットを使用する遊びなど。</p> <p>【根拠法令等】保育所保育指針、いわき市立保育所保育の計画、食育基本法、いわき市立保育所食育の計画</p>	H30 (実績) 公立、法人立保育所で実施	—	継続	
							R1 公立、法人立保育所で実施予定	—		
	33	保育所食育活動 (アレルギー除去食の実施)	A-1 B-1 B-3	①⑦ ⑨	—	<p>●食物アレルギー児に対し、主治医のアレルギー疾患生活管理指導表にもとづき、保護者との連携をとりながら、集団給食の中で可能な限りの除去食を実施。食物アレルギー児は除去食を前向きにとらえ、今後の食生活への自信と自立心を、周囲の子どもたちには思いやりの心を養うことを図り、食が健康を維持、増進させることを理解し、食を営む力の基礎を培い食育実践を行う。</p> <p>●保護者及び保育所職員を対象に講習会を実施し、児童が健康で安全な楽しい食生活を送れるよう、アレルギーについて理解を深める。</p> <p>内容 講義「食物アレルギーとは～診断と治療について」 説明「食物アレルギーを有する児童への保育所給食での対応について」</p> <p>【根拠法令等】保育所保育指針、いわき市立保育所保育の計画、食育基本法、いわき市立保育所食育の計画</p>	H30 (実績) 1回開催 37人参加 公立保育所職員32人 保護者 5人	—	継続	
							R1 公立保育所で実施予定	—		

令和元年度 食育に関する事務事業一覧

資料 3-2

所属	No.	事業名	分野記号	指標番号	実施年度	事業概要・根拠法令等	主な平成30年度事業実績・令和元年度事業予定	事業費	今後の方向性	見直し等の理由	
こども支援課	34	保育所食育活動 (保育士の給食の喫食)	A-1 B-1 B-3	①⑥ ⑦⑫	—	<ul style="list-style-type: none"> ●保育士の保育所給食の喫食 児童と同じ給食を喫食することを通して、保育所での食育をより推進する。 【根拠法令等】保育所保育指針、いわき市立保育所保育の計画、食育基本法、いわき市立保育所食育の計画	H30 (実績) 一部の法人立保育所で実施。公立保育所では、H22から市内4保育所で試行を開始し、試行内容を踏まえ、課題等の整理、検討を行い、H23は市内8保育所、H24は市内16保育所に試行保育所数を拡大して実施した。H25年度からは施設面にて対応が現状では困難な1保育所を除き実施となる。平成26年度からは全部の公立保育所において実施。 R1 全公立保育所において実施予定。	—	継続		
	こどもみらい部	35	プレママ・プレパパクラス	B-1	① ④	H6~	子育てを行う両親の多様なニーズに対応し、妊娠・出産・育児に関する適切な情報の提供や仲間づくり等の支援をすることで、両親が前向きに安心して子育てが出来ることを担う。その中に妊娠と栄養の関係について盛り込み、講話と調理実習を通して妊娠期の食事の大切さを学ぶ。 【根拠法令等】母子保健法、いわき市子ども子育て支援事業計画	H30 (実績) 12コース(2回シリーズ)、日曜開催 参加実人数 (実)プレママ243人 プレパパ238人 計481人 (延)プレママ456人 プレパパ448人 計904人	330千円	継続	
							R1 平成30年度同様、12コース(2回シリーズ)日曜日実施予定	355千円			
こども家庭課	36	離乳食教室	A-1 B-1	① ④ ⑥ ⑨	H10~	食生活の第一歩である離乳食を正しく理解し、無理なくすすめることで、健康づくりの基本である正しい食習慣を身につけるとともに、口腔衛生の知識を学び、児の心身の健やかな成長を促進する。 <ul style="list-style-type: none"> ●内容 ・簡単メニューの実習 ・試食と離乳食のすすめ方のお話 ・乳幼児期の歯について ●対象 生後5か月前後の乳児とその保護者(離乳食初期及びこれから離乳食を始めようとする方) 【根拠法令等】母子保健法、いわき市子ども・子育て支援事業計画	H30 (実績) 月1回(年12回)実施、143組参加 R1 平成30年度同様、月1回(年12回)開催。1回20組限定	260千円 315千円	継続	平成28年度をピークに、参加組数が減少している現状があるので、教室のPRを4か月児健診で行い、参加者数の拡大を図ることに努める。	

令和元年度 食育に関する事務事業一覧

資料 3-2

所属	No.	事業名	分野記号	指標番号	実施年度	事業概要・根拠法令等	主な平成30年度事業実績・令和元年度事業予定	事業費	今後の方向性	見直し等の理由
農 業 振 興 課 農 林 水 産 部	37	農山漁村学習体験事業	B-1 D-1 D-2 F	① ⑧ ⑭	H24～	<p>本市の農林水産業の特色や復興への姿を紹介した学習資料を子どもたちに配布することにより、本市一次産業への理解の醸成を図る。</p> <p>また、都市部の小中学生や学校関係者等を対象に交流事業を実施し、各種体験活動等を通じて震災からの復興へ向かう姿を学ぶことにより、本市農山漁村への理解を深めてもらい、震災で疲弊した農山漁村の復興への糸口とする。</p> <p>【根拠法令等】いわき市農山漁村体験交流事業補助金交付要綱</p>	<p>H30 (実績)</p> <p>①学習資料作成・配布部数 4,000部(市内小学校及び関係機関) ②農山村の生活体験、参加者及び関係者等による交流事業1回実施、70人参加</p>	928千円	継続	
							<p>R1</p> <p>①学習資料作成・配布部数 3,850部(市内小学校及び関係機関) ②農山村の生活体験、参加者及び関係者等による交流事業3回実施、約150人参加予定</p>	1,870千円		
	38	第四期新農業生産振興プラン推進事業費補助金(料理教室関係)	C-1 D-1 F-1 F-2	① ⑦ ⑪ ⑫	—	<p>【目的】 地元で生産された農産物を使った料理教室や地域に伝わる伝統料理に関する料理教室を開催し、地産地消の推進を始め、農産物のPRを図る。</p> <p>【内容】 ①いわきの農産物を使った料理教室の開催 ②地域の伝統料理教室の開催</p> <p>【根拠法令等】第四期新農業生産振興プラン</p>	<p>H30 (実績)</p> <p>【目的】 地元で生産された農産物を使った料理教室や地域に伝わる伝統料理に関する料理教室を開催し、地産地消の推進を始め、農産物のPRを図る。</p> <p>【内容】 ①いわきの農産物を使った料理教室の開催 ②地域の伝統料理教室の開催</p>	190千円	継続	
							<p>R1</p> <p>【目的】 地元で生産された農産物を使った料理教室や地域に伝わる伝統料理に関する料理教室を開催し、地産地消の推進を始め、農産物のPRを図る。</p> <p>【内容】 ①ブルーベリー教室の開催(場所:大和田自然農園、参加者:小学生親子15組予定) ②伝統料理教室の開催(場所:三和中学校、参加者:50名予定)</p>	172千円		
	39	いわき伝統野菜生産拡大推進事業(料理教室関係)	C-1 C-2 C-3 E-1 E-2 F-1 F-2	① ⑦ ⑪ ⑫ ⑭	H22～	<p>【目的】 本市の地域資源であるいわき伝統野菜(在来作物)を活用した料理教室や農業体験の実施、いわき伝統野菜の魅力を知ってもらうためのいわき伝統野菜フォーラムを開催し、食文化への理解と農業の魅力を発信すると共に、地産地消の推進と食農教育の推進を図る。</p> <p>【内容】 ①いわき伝統野菜フォーラムの開催 ②いわき伝統野菜教室の開催</p> <p>【根拠法令等】第四期新農業生産振興プラン</p>	<p>H30 (実績)</p> <p>①場所:クレールコート 参加者:100名 ②場所:久之浜第二小学校 参加者60名、三和小学校 参加者60名</p>	1,732千円	継続	
							<p>R1</p> <p>①場所:クレールコート 参加者:100名予定 ②場所:久之浜第二小学校 参加者60名予定、三和小学校 参加者60名予定</p>	1,657千円		

令和元年度 食育に関する事務事業一覧

資料 3-2

所属	No.	事業名	分野記号	指標番号	実施年度	事業概要・根拠法令等	主な平成30年度事業実績・令和元年度事業予定	事業費	今後の方向性	見直し等の理由	
農 林 水 産 部	40	いわき産水産物魚食普及推進事業	A-3 A-4 A-5 C-3 E-1 E-4 F-1 F-2	④ ⑭ ⑯	H21～	水産業の現状や地産地消に対する市民の理解を深めるため、いわき産水産物を使用し、公民館市民講座の料理教室と連携した魚食普及活動やおさかなマイスター等を活用した市民学習会を開催する。 【根拠法令等】いわき市水産業振興プラン(H21～H25)、第2期いわき市水産業振興プラン(H26～)	H30 (実績)	○公民館の市民講座と連携した魚食普及推進の取り組み 公民館の市民講座(料理教室等)へ、いわき産水産物を提供し、それを活用したメニューを市民講座の講師から受講者へ教えてもらい、魚食普及を推進した。 ○市民学習会による魚食普及活動 魚食普及の推進を目的として、本市水産業の現状や魚の捌き方や簡単な調理方法を学ぶ、いわき魚塾による市民学習会(高校生向け)を開催した。	212千円	継続	
							R1	○公民館の市民講座と連携した魚食普及活動 ○市民学習会(高校生向け)による魚食普及活動	216千円		
	41	いわき産水産物風評被害対策事業(小中学生向け「常磐もの」体験学習業務)	A-2 C-3 E-1 E-4 F-1 F-2	⑦ ⑭	R1～	「常磐もの」の魅力について、子供向けの体験学習を実施することで、本市の水産業や「常磐もの」への理解・関心を深め、魚食普及を推進し、その姿を広く情報発信することにより、「常磐もの」のイメージアップ及び認知度向上を図るため、市内小中学生を対象に、市内で水産業に関わる関係団体等の協力を得て、水産や漁業に関する技術、水産物を使った伝統料理等を体験しながら学ぶ「常磐者」になろう！海のおしごと合宿」を開催する。	H30 (実績)		—	未定	
							R1	・7月28日～29日開催	1,000千円		
	42	水産物消費拡大・販売強化事業(保育所等との魚食普及連携業務)	A-2 B-2 C-3 E-1 E-4 F-1 F-2	⑦ ⑭	R1～	魚離れといわれる若い世代を対象に、おいしさや栄養など魚の魅力を体で感じてもらい、「常磐もの」の認知度向上と消費拡大を図るため、市内保育所を対象に、平成28年度に作成したPR映像「ポーポー焼の歌とダンス」を活用し、歌って踊って、実際に「ポーポー焼」等の加工品を食べ、おいしさや栄養など魚の魅力を体で感じてもらう「さわってみよう！はじめてのおさかな教室」を開催する。	H30 (実績)		—	未定	
							R1	6月28日：渚保育所 8月5日：三阪保育所で開催	484千円		

令和元年度 食育に関する事務事業一覧

資料 3-2

所属	No.	事業名	分野記号	指標番号	実施年度	事業概要・根拠法令等	主な平成30年度事業実績・令和元年度事業予定	事業費	今後の方向性	見直し等の理由
観光交流室	43	ふるさと産品育成事業	F	① ⑦ ⑩ ⑪ ⑫	H3～	「地域における資源、技能等その特性を生かして生産し、又は加工されたふるさと産品の育成を図り、地域経済の活性化に資する」ことを目的に、ふるさと産品育成に係る事業に対し、補助金を交付する。 【根拠法令等】いわき市ふるさと産品育成事業補助金交付要綱	H30(実績) 交付団体:7団体 交付対象事業 (1)小田原おでんサミットへの参加 (2)麵の展示会等出展による販路開拓 (3)小名浜さんま郷土料理再生プロジェクト (4)地方銀行フードセレクション参加 (5)物産展出展 (6)いわきの真っ赤なルバーブプロジェクト (7)ふるさと産品の開発	1,500千円	継続	
							R1 交付団体:5団体 交付対象事業 (1)さんま郷土料理等のSNS発信 (2)物産展出展 (3)商談会参加 (4)玉ねぎドレッシングの開発 (5)小名浜港カジキグルメの海外進出	1,500千円		
教育委員会	44	学校給食等食育推進事業	B-3 B-4 E-2 F-1 F-2	① ④ ⑦ ⑫ ⑬ ⑰	H24～	子どもたちの豊かな心と体を育むため、食に関して学校と学校給食共同調理場が家庭や地域との連携を図り「ひと・食・環(わ)」をコンセプトに食育を推進していくもの。	H30(実績) ・親子ふれあい弁当デーの全校実施及び「簡単お弁当レシピ集」の配布 ・学校給食共同調理場体験ツアーの実施 ・地元料理人と連携した和食給食の全校実施と交流会食会の開催 ・いわき海星高校と連携したかじきカツ給食の全校実施と交流会食会の開催 ・磐城農業高等学校と連携したオリジナル給食の全校実施	692千円	継続	
							R1 ・親子ふれあい弁当デーの全校実施及び「簡単お弁当レシピ集」の配布 ・「野菜いっぱい！子どもと食べたい滋養お弁当講座」の開催 ・学校給食共同調理場体験ツアーの実施 ・地元料理人と連携した和食給食の全校実施と交流会食会の開催 ・いわき海星高校と連携したかじきカツ給食の全校実施と交流会食会の開催 ・磐城農業高等学校と連携したオリジナル給食の全校実施	772千円		
教育委員会	45	食の安全性・栄養に関する調査と情報の提供	B-3 E-2 E-4	⑥ ⑧	H20～	学校給食の食材についての、安全性の確認書や栄養成分一覧等を、市民に広く情報提供する。	H30(実績) 学校給食の食材についての安全性の確認書や栄養成分一覧を作成し、随時問い合わせに対応可能な状態とした。 また、食材及び完成品(一食全体)について、放射性物質検査を民間委託し、結果と産地について市のホームページで公開し周知を図った。	36,114千円	継続	
							R1 引き続き、学校給食の食材についての安全性の確認書や栄養成分一覧を作成し、随時問い合わせに対応可能な状態とする。 また、学校給食で使用する食材等の放射性物質検査の民間委託、結果の公表内容についても、これまでと同様に行っていく。	48,240千円		

令和元年度 食育に関する事務事業一覧

資料 3-2

所属	No.	事業名	分野記号	指標番号	実施年度	事業概要・根拠法令等	主な平成30年度事業実績・令和元年度事業予定	事業費	今後の方向性	見直し等の理由
教育委員会	46	地産地消の取り組みと郷土料理の給食実施	B-3 E-2 F-1 F-2	⑦ ⑧ ⑬ ⑯	—	地域で採れた農産物を学校給食で利用したり、郷土料理を学校給食献立に取り入れ、食文化の伝承につなげる。	H30 (実績) 学校給食で使用する食材は、国や県のモニタリング結果を参考にして、安全が確認されたものは産地にかかわらず使用している。さらには、各食材ごとに放射性物質検査を行い、市教育委員会基準を超えた食材は使用しないと定め、より安全な食材を選定して献立を作成している。 上記検査を行った市内産農産物やいわき伝統野菜を学校給食に活用することで、食に関わる人々への感謝の心を育み、地域の特産物に対する理解を深め、食文化の伝承につなげた。	0千円	継続	
							R1 学校給食はすべての児童生徒に提供されるものであり、安心安全が基本となることから、保護者の理解を得ながら地元食材を使用し、食文化の伝承につなげていく。	0千円		
福島県農林事務所	47	食育実践サポーター派遣事業	A-1 B-2 C-2 E-1 F-2	① ③ ⑤ ⑥ ⑦ ⑨ ⑩ ⑪	H26～	食育体験や交流、食生活改善、地域の食文化や郷土食の伝承等の活動を先進的に実践する方々を「食育実践サポーター」として登録、子どもを対象とした食育推進に取り組む学校や地域団体等からの要請に応じて派遣し、支援活動を行うことにより、食育実践活動の普及拡大を図る。 【根拠法令等】第三次福島県食育推進計画、ふくしま食育実践サポーター制度実施要領	H30 (実績) ○サポーターの登録人員 21人 ○サポーターの派遣 4回 実施年月日、実施場所(対象者)、内容 H30.6.14 藤原幼稚園(園児保護者 16名)「子どもが喜ぶ時短料理(調理実習)」 H30.10.5 さかえ保育園(園児保護者 102名)「食が子どもに与える影響の講話」 H30.10.10 平第一小学校(児童保護者 24名)「体に良い食事の講話と調理実習」 H30.10.23 平第六小学校(5学年児童 40名)「エコクッキング・育脳メニューの作り方と調理実習」	39千円	継続	
							R1 当該事業の周知に努めるとともに各学校や地域団体等からの要請に応じ、支援活動を行い食育実践活動の普及を図る。 ○サポーター派遣予定 年月日、申込者(対象者) R1.5.24 好間第一小学校(2学年児童 43名) R1.7.3 好間第一小学校(2学年児童 43名) R1.8.2 すずかけ学童クラブ(学童児童) R1.10月上旬 好間第一小学校(2学年児童) R1.10.18 藤原幼稚園(園児保護者)			
福島県農林事務所	48	食農応援メニュー	E-1 E-4 F-1	—	—	「食をとおして ふくしまの未来を担う人を育てる～家庭、学校、地域が一体となった食育の推進～」を基本目標に、取り組む。 家庭や学校、地域が一体となり「健康な心と身体」を育むため、また、農林水産業や諸産業等の体験や交流を通じて食文化を継承するなど、「豊かな心」を育むための食育を推進する。併せて、食の安全・安心に向けた判断力や行動力を促進するなど、「強く生きる力」を育むための食育を推進する。 農林水産部門では、豊かな食育体験の推進として、「食」と「農」に関する体験学習の支援や「農」を通じた総合環境教育の実施等に取り組む。また、地域資源の活用促進と地産地消の推進として、県産農林水産物等のPRと地産地消推進、県産農林水産物を利用した商品開発と販路拡大への支援等に取り組む。 【根拠法令等】第三次福島県食育推進計画	H30 (実績) 8月3日に磐城農業高等学校と連携してフレッシュ農業ガイド講座を開催した。1年生75名を対象に、乳牛や花卉、キノコ類の生産状況、ブルーベリーを利用した農産物加工品の生産と販売等について、生産者からの状況説明や現地視察、生産物の試食を内容とした。		継続	
							R1 現段階では予定なし。 磐城農業高校と連携して取り組むフレッシュ農業ガイド講座を開催予定。 ○日時 8月7日 ○対象 磐城農業高等学校1年生80名 ○内容 園芸品目の生産、加工、販売を行う企業の視察			

令和元年度 食育に関する事務事業一覧

資料 3-2

所属	No.	事業名	分野記号	指標番号	実施年度	事業概要・根拠法令等	主な平成30年度事業実績・令和元年度事業予定	事業費	今後の方向性	見直し等の理由
福島県 いわき農林事務所	49	ふくしまの農育推進事業	A-2 C-1 C-2 C-3 D-1 E-1		H21～	地域の未来を担う子どもたちが「農業・農村地域の大切さ」、「環境の大切さ」、「食・命の大切さ」について理解を深め、豊かな感性と深い見識を持つことを目指して、農村地域の重要な要素である田んぼ、水路、ため池等において自然環境を遊びと学びの場として活用した体験型学習や土地改良施設の見学等を行う。 【根拠法令等】第三次福島県食育推進計画	H30(実績) ○対象 いわき市立菊田小学校5年生児童78名、担当教諭、校長、地元農家、保護者、土地改良区 ○実施内容 4月…開校式 5月…マコモダケの苗植え 6月…生きもの調査 7月…生育状況確認 10月…マコモダケ収穫 10月…マコモダケの実食体験 11月…収穫祭(バザー) 11月…学びの収穫祭(成果発表会)	58千円	継続	
						R1 ○対象 いわき市立菊田小学校5年生児童82名、担当教諭、校長、地元農家、保護者、土地改良区 ○実施内容 4月…開校式・マコモダケの苗植え 6月…いきもの調査 7月…生育状況確認 10月…マコモダケ収穫・実食体験 11月…校内成果発表会・閉校式	63千円			
福島県 いわき農林事務所	50	学校給食等産地消費推進事業	A-1 B-2 B-4 C-2 E-2 F-1 F-2	④ ⑦ ⑨ ⑬	H26～	学校給食や病院食において県産農林水産物への魅力や安全性に対する理解促進活動を行うとともに、県産農林水産物の積極的な活用を促し、消費拡大につなげることを目的とする。 事業概要 (1)給食等での県産食材提供にかかる購入経費補助 (2)産地消費に関連した食育活動や研修会に係る経費の補助 【根拠法令等】第三次福島県食育推進計画	H30(実績) 給食等での県産食材提供にかかる購入経費補助 食材費補助:いわき市小学校 25校 中学校 17校(合計 42校 7,742人)	3,476千円	継続	
						R1 第1期募集では申請なし。第2期募集でいわき市が申請予定。				
福島県 いわき教育事務所	51	ふくしまから はじめよう。元気なふくしまっ子食環境整備事業	A-1 A-2 B-1 B-2 B-3 B-4 C-2 C-3 E-2 E-3 F-1	① ② ⑤ ⑥ ⑦ ⑪ ⑬	H26～	保健福祉部・農林水産部・教育委員会が連携し、家庭・学校・地域が一体となって食育推進体系を再構築し、「元気なふくしまっ子」が育つ食環境整備を進める。	H30(実績) 1 食習慣、肥満等の健康課題に対応する食育指導者研修会 2 指導者向けの作物栽培研修 3 栄養教諭の個別的な相談指導スキルアップ研修 4 栄養教諭の各校訪問指導 5 高校生のための栄養教室 6 栄養教諭の食育推進活動の評価検証 7 個別的な相談指導の実践事例集の作成 8 ふくしまっ子ごはんコンテスト(応募総数 16,332点) 9 食育推進優秀校の表彰 10 朝食について見直そう週間の実施(6月・11月実施)		継続	
						R1 1 食習慣、肥満等の健康課題に対応する食育指導者研修会 2 ふくしまっ子の健康課題に対応する食環境を考える会 3 地場産物活用のための作物栽培研修 4 ふくしまっ子栄養教室食育研修会 5 ふくしまっ子栄養教室 6 高校生のための栄養教室 7 つながる食育推進研修会 8 ふくしまっ子ごはんコンテスト 9 食育推進優秀校の表彰 10 朝食について見直そう週間の実施(6月・11月実施)				